





**SANWA REPORT**  
**全社員会議**

令和4年8月10日(水)開催

今回は三和サービス・林正和社長(訓話)のエッセンスをお届けします。説明力を磨くために日頃から意識すべきことは?身近な状況や場面に置き換えて活かしていきましょう。

本日は、50期6月までの8か月間の振り返りとともに、1年前、全社員会議で50期を迎えるにあたってお願いした次の3点、①「サービスに直結する教育面やサービス面は最新のものに変えてください」②「会社の基本理念を理解し、お客様の声を聞いて経営に活かしてください」③「三和社員としての自覚と責任と誇りを持って行動してください」について約9か月を経た時点で出来ている面と出来ない面があり、何故出来ないのかを考えた

伝わりやすい順番を常に意識し、身につけよう。

『説明力について』

● 三和サービス/林正和社長 訓話

時に、私からの説明不足もあるのかなと思いましたが、今回は、「説明力について」をテーマにお話させていただきます。第1四半期から第3四半期までの各部門別売上について、京葉支店の売上減と「海津温泉」の3月末撤退の影響により、最終的には昨対を割込む予定となっています。指定管理施設の更新は、「海津温泉」以外ではできませんが、提案書の作成時期より電気料金、燃料価格が高騰しているため、いろいろな努力をして数字を残していかなくてはなりません。8月末には「中山道街道交流館」の更新公募が出ます。さらに同じ愛荘町にある「湖東三山館あいしょう」も大変な案件ですが、申請してお客様のご期待に応えて

いきたい。新規物件を取ることで、会社のムードも盛り上がります。ぜひ果敢に取り組んでいきたいと思っています。

さて、「説明」は、プレゼン・対面営業・業務指示・業務依頼などに必要で、話しても伝わったことが伝わってなかった、逆に間違えて伝わったとなれば、当然、いい結果は生まれません。まず必要なのは、伝えたいことを無くすことです。説明のゴールは、「相手が納得し、行動すること」。言い換えれば、「こちらが意図した結果を得ること」が説明をしたこととなります。説明力とは、頭が良い悪いではなく、「慣れ」と「伝わりやすい順番」がありますので、ぜひ覚えてください。

【伝わりやすい説明の順番】

伝わりやすい順番	例
1.前提をそろえる	建物管理の営業をする時は、相手担当者の「建物管理に関する知識の有無」で前提が変わってくる。
2.結論・主張	100万円で建物管理させてください。
3.根拠・理由	歩掛で計算し、常駐何人から賃金を求め、新システムで行うからです。
4.補足説明	新システムは他で実施しており間違いないです。
5.結論・相手に促したアクション	以上の事から100万円で建物管理させてください。

【本日のお話を伝わりやすい順番に置き換えた場合】

伝わりやすい順番	例
1.前提をそろえる	説明力は、プレゼン・対面営業・業務指示・業務依頼
2.結論・主張	皆さんにも説明力(コミュニケーション能力)を向上させてほしい。
3.根拠・理由	「伝えたい」が伝わらなかった、あるいは間違えて伝わった、となれば、仕事の受注ができない。事務処理ミスが起こり、いろいろな意味でロス。
4.補足説明	エピソードやたとえ話、プレゼンを自撮りして、相手に伝わるプレゼンなのか確認までしている営業マン
5.結論・相手に促したアクション	説明力向上。日々この流れを頭において、コミュニケーションを図ってもらいたい。

☆ 自分の説明力をあげるため、日頃から伝わりやすい順番を意識してください。最後に、三和の社員として自覚と責任と誇りを持って積極的に行動してください。

**サンワのWw!**

作/三宅よしこ No.15



XJAPANのXは未知数という意味だそうです

三和グループが目指す **DX化** の取り組み [ペーパーレス化] を推進中

当グループがDX化に向けて進めているペーパーレス化は、紙の利用を減らし、デジタルデータでのやり取りを増やすことで業務を効率化しようとする取り組みのことです。様々な業務の中で使用する紙を減らし、データ化にシフトすることで、業務のデジタル化を更に進めていきます。例えば、会議の際に配布していた紙の資料を無くして、代わりにプロジェクターで資料の内容を壁に映しています。これにより、会議に参加する全員が同じ資料の同じ部分に注目しながら会議を進めることができるようになり、ペーパーレス会議の機会も増えていきます。

知るほど・なるほど! 身近に私もDX! マイナンバーカード利用に挑戦しよう 皆さんにとって身近なところでは、マイナンバーカードの交付を受けた方が健康保険証としての利用申込や公金受取口座の登録をすることも、DX化のひとつではないでしょうか。現在、総務省がマイナポイント第2弾のキャンペーンを行っています。これは、マイナンバーカードやキャッシュレス決済の普及促進を目的とした国の施策で、第2弾では最大20,000円相当のマイナポイントを受け取ることができます。おトクいっぱいこの機会に、ぜひチャレンジしてみてください。

最大 **20,000**円相当の **大ポイント** をゲット!

受け取れるマイナポイント

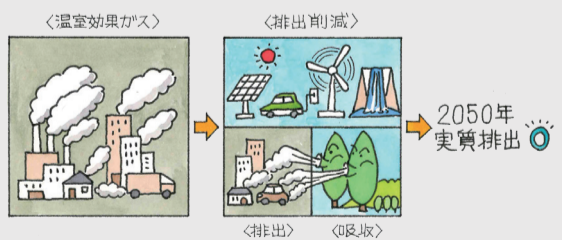
- ・マイナンバーカードの新規取得およびキャッシュレス決済の利用で最大**5,000**ポイント
- ・健康保険証としての利用申込で**7,500**ポイント
- ・公金受取口座の登録で**7,500**ポイント

マイナンバーカード申請期限 **2022年12月末まで**  
マイナポイント申し込み期限 **2023年2月末まで**

詳しくは「総務省マイナポイント事業」ウェブサイトをチェック!  
<https://mynumbercard.point.soumu.go.jp/>

未来のために「今」からできること! **新たな社会変革! [GX編]**

『GX』という言葉を目にしたことがありますか? GXとは、グリーントランスフォーメーション(Green Transformation)の略で、温室効果ガスの排出源である化石燃料や電力の使用を再生可能エネルギーなどのグリーンエネルギーに転換することで、社会経済を変革させることを指します。



GXが目指される背景には、地球温暖化対策としてのカーボンニュートラルという取り組みがあります。カーボンニュートラルとは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量をできるだけ削減した上で、削減しきれなかった分を植林・森林管理により二酸化炭素を吸収することで、差し引きトータルでゼロにすること。

日本を含む120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」を目標と掲げており、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすると宣言しています。

カーボンニュートラルに取り組むことは、SDGsの目標7「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」と目標13「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」にも関係してきます。

私たちにもできる取り組みを始めてみましょう!

**省エネ家電の導入**  
家庭からのCO<sub>2</sub>排出量の約半分を占めているのが電気。省エネ家電に変えることで電気代節約・CO<sub>2</sub>排出量の削減ができます。

**暮らしに木を**  
木のもつ調湿作用等は、快適な室内環境に繋がります。また木材を使うことで、植林や間伐等の森林の手入れにも貢献します。

**スマートムーブ**  
マイカーを中心としている移動手段を見直し、CO<sub>2</sub>排出量の削減を目指す取り組みのこと。徒歩、自転車、公共交通機関等の移動手段を選択することで、心身の健康増進にも良い効果が期待できます。

◆◆◆ 編集室から ◆◆◆

秋ですね。栗の美味しい時期です。栗ご飯食べましたか? 栗と言えば、岐阜には有名店が多く私は毎年悩めます。今年はこの栗きんとん食べようかな? と。(笑)  
さて今回は、新しく仲間として誕生しました『つむぐ』『つなぐ』。かわいい姿にぴったりな名前ですね。  
多数の方にご応募頂きありがとうございます。これから二人は色々なところに出演します。DXにも?! 出演するかもしれません。応援よろしくをお願いします。

三和グループ社内報 2022年 秋号(令和4年10月25日発行)  
発行所 株式会社三和サービス  
本社/〒500-8286 岐阜市西鶴1丁目52番地  
電話/058-273-5653(代)

Brightness

